

総評

数学が特に難しかったことを除いて、標準～易しめの出題となりました。数学で高いSSを獲得した人は、本番では今回ほど有利にならないと考えて、他教科の対策もしっかり行ってください。

前回と今回の道コンで、入試の時間配分のイメージがつかめてきたことと思います。今年の入試は出題範囲が狭い分、標準問題で受験する人は、基本問題のとりこぼしがないようにしっかり確認し、裁量問題で受験する人は、実戦的な問題に取り組み、知識を活用できる力を身につけておきましょう。また、裁量問題の対策ばかりに気を取られて、理科や社会の復習がおろそかになっていませんか。理科や社会は信頼できる得点源です。自分の弱点をしっかり見極めて、5教科の得点を最大にする方法を考えて下さい。

国語

標準問題、裁量問題ともに易しい出題でした。

㉠は、漢字の読み「体裁」の得点率が低く、全体で最も低くなりました。漢字の書き「額」「肥え」も難しかったようです。問四の「食べる」と、「助動詞」を組み合わせた表現を書く問題では、「ただけ」のように「助動詞」を組み合わせていないものが散見されました。㉡は問一の得点率が低いです。「助詞」や「文節」の意味を復習しておきましょう。㉢の問四は、標準・裁量ともに得点率が低くなりました。浩太が思い至ったことや浩太の気持ちを書いている答案が目立ちました。㉣は問二が難しかったようです。得点できなかった人は口語訳と照らし合わせながらもう一度読んでみましょう。

今回得点できた人も油断せず、次の道コンや入試に向けて問題演習を重ねましょう。

数学

オーソドックスな問題中心ですが、記述が多く難しめの出題でした。①～③の取りこぼしが目立っています。

②はいずれも基本問題ですが、得点率が非常に低かったです。問2は、全体が線対称な図形と勘違いした人が多かったようです。問3は、球の体積や表面積の求め方を再度確認しましょう。問4は方程式の問題と混同した解答が目立ちました。④の問3は、比の対応が逆になっている答案が目立ちました。図に書き入れるなどして整理しましょう。

入試の出題から除外された項目は、高校に進学したあと必要になる最重要項目ばかりです。定期試験も見据えてしっかり学習し、身につけましょう。裁量問題の対策は知識を活用する問題に重点を置いて、他県の入試問題などを利用して様々な問題に取り組みましょう。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、①問1(2)のナイジェリアに関する問題が裁量・標準ともに正答率が低くなりました。また、②問5の都道府県の農業産出額割合に関する問題は判断に迷う人が多かったようです。どちらも国や都道府県の特徴を答える問題でした。間違えた人は教科書や資料集などで内容を確認してください。

歴史分野では、③問9の年代並べかえ問題が難しかったようです。年号の暗記はもちろん大切ですが、できごとの流れを自分の言葉で説明できるようになれば、試験でも安心して得点することができます。

公民分野では、④問1(1)の記述問題で正答率が低くなりました。日本国憲法の内容をもう一度整理して、正確に覚えるようにしましょう。

理科

やや易～標準の出題となりました。

①は、どれも基本的な内容に関する出題でした。間違えたところだけではなく、迷った問題もしっかりと復習し、次は確実に得点できるようにしましょう。②は、寒冷前線の通過に関して、比較的オーソドックスな問いでした。問3は、前線の通過について非常に重要な内容です。よく確認しておきましょう。③は、凸レンズについて出題されました。実験内容がやや複雑に感じられたかもしれませんが、問題自体はよく見られる内容のものでした。④は、植物の蒸散についてでした。全体によくできていたようです。⑤は、問1(2)が非常に難しかったようです。問3は、実験結果の読み取って考える必要がありましたが、とてもよくできていたようです。

英語

標準問題・裁量問題とも、全体としてはやや難しい出題となりましたが、前回と比較すると、よく得点できた人が多かったのではないのでしょうか。特に裁量問題では、得点率が80%以上になる問いも見られ、入試に向けて、実践的な問題を解けるようになってきた人も多いかもしれません。ただ、リスニング問題で取りこぼしが目立った問いもありましたので、聞き取りの練習も怠らないようにしていきましょう。

標準問題では、依然として記述問題を苦手とする人が多いようです。類似問題で練習をして、入試で差をつけられるようにしましょう。

裁量問題でも、記述問題で得点率が20%程度になった問いがありましたが、臆せず書こうとする姿勢が見られたように思います。